



# 国民春闘共闘

第29号

2016年5月31日

国民春闘共闘委員会

〒113-8462 東京都文京区湯島2-4-4 全労連会館  
☎ 03-5842-5621 FAX 03-5842-5622

2016春闘・第7回賃上げ集計

## 単純 5,323 円 加重 5,770 円

国民春闘共闘委員会（全労連、純中立労組懇、地方共闘などで構成）は5月26日、2016年春闘における第7回目の賃金改定集計を行い25単産・部会から報告が寄せられました。

### <回答状況>

	2016年	2015年(同期)
登録組合数	824	835
回答組合数	494 (60.0%)	495 (59.3%)
うち金額・率回答	367	367
うち「定昇のみ」など言葉による回答	127	128
うち上積み獲得	101 (20.5%)	109 (22.0%)
うち妥結組合数	242 (49.0%)	254 (51.3%)

### <回答内容>

集計方法&対象		2016年	2015年(同期)	(前年同期比)
単純平均	額(円)	5,323	5,729	-406
	率(%)	1.97	2.06	-0.09
加重平均	額(円)	5,770	6,158	-388
	率(%)	2.02	2.07	-0.05
	組合員数(人)	86,770	93,633	

### <前年実績との比較が可能な組合における回答状況(金額での比較)>

前年比較可能な組合数	うち前年実績以上	(前年超)	(同 額)
325	156 (48.0%)	120	36

### <前年実績との比較が可能な組合における金額・率の比較>

		組合数	金額・率	前年実績	(前年比)
単純平均	額(円)	325	5,501	5,769	-268
	率(%)	203	1.98	2.10	-0.12

※額または率のみの報告があるため、双方は連動しません。

※「定昇のみ」など言葉による回答は計算から除いています。

## <集計結果の概要>

### 回答引出し・妥結状況

2016年春闘における第7回賃金改定集計は25単産・部会での集計となりました。

登録824組合のうち、これまでに回答を引き出したのは494組合・60%で、前回調査（5月10日現在：436組合・52.7%）から58組合・7.3%上昇しています。あらたに全労連・全国一般の製造、金融労連から報告が寄せられたほか、全農協労連、建設関連労連、全労連・全国一般の卸売・小売、日本医労連などで回答引き出し組合が増えています。前年同期（2015年5月29日現在：495組合・59.3%）との比較ではほぼ同水準となっています。

回答引き出し組合のうち、妥結もしくは妥結方向となっているのは242組合で、妥結率は49%となっています（「定昇のみ」など言葉による回答も含む）。未解決組合での決着が進み、前回調査（175組合・40.1%）から67組合・8.9%増えています。前年同期（254組合・51.3%）と比べ2.3%下回っています。

### 全体の回答内容

有額回答を引き出した組合での単純平均（一組合あたりの平均）は5,323円・1.97%、加重平均（組合員一人あたりの平均）は5,770円・2.02%となっています。

前回調査からは単純平均14円減・+0.02%、加重平均4円増・±0%となっています。前年同期比では単純平均406円減・-0.09%、加重平均338円減・-0.05%となっています。

額での推移をみると、集中回答日翌日（3月17日）の第1回集計は単純平均5,305円・加重平均5,624円でのスタートとなり、単純平均額は第3回集計（3月31日）では100円程度落ち込みましたが4月6日の第4回集計（4月6日）で5,273円に回復し、その後、平均5,300円台を維持しています。加重平均額は第3回集計以降5,700円台で推移し、僅かながら上昇傾向にあります。前年同期を下回る厳しい状況ながらも、各組織が粘り強く交渉を進め奮闘していることが伺える結果となっています。

回答引出しのあった494組合のうち、数次にわたる上積みを獲得したのは101組合・20.5%となっています。最高次数はJMITUでの6次回答で、JMITU、化学一般労連、映演労連での計3組合が5次回答、JMITU（7組合）、全印総連、日本医労連、地方マスコミ（各1組合）の計10組合が4次回答と続いており、5月中旬以降も上積み獲得の報告が寄せられています。

賃金引上げの最高額は出版労連の組合での14,340円となっています。1万円以上を獲得したのは、出版労連（8組合）、JMITU（3）、建交労・運輸（2）、建設関連労連、映演労連、福祉保育労（各1）の計16組合、9,000円台が17組合、8,000円台が27組合となりました。引上げ率での最高はJMITUの組合での4.7%となっています。率揭示のあった233組合のうち51.9%にあたる121組合が2%以上の回答を引き出しています。

単産・部会別の集計をみると、単純平均額で前年同期と比較可能な23単産・部会のうち、全農協労連、建設関連労連、合同繊維、建交労・運輸、建交労・鉄道、生協労連、金融労連、映演労連の8単産・部会では対前年同期比微増となっていますが、15単産・部会はマイナスとなっています。

回答の水準をみると、建設関連労連（単純平均9,630円・加重平均9,545円）をはじめ、映演労連（同8,973円・同8,946円）、民放労連（同8,407円・同8,836円）、出版労連（同7,980円・同

9,114 円) が高水準で全体を牽引しているのをはじめ、建交労・建設、JMITU、化学一般労連、建交労・鉄道、全労連・全国一般の卸売・小売、日本医労連、地方登録組合では加重平均 6,000 円以上となっています。

JMITU、化学一般労連、生協労連、全印総連、民放労連、日本医労連、地方マスコミなどでは単純平均額で前回調査時点から微増しており、粘り強いたたかひの成果が確認出来ます。

規模別でみると、「1000 人以上」が単純平均 5,814 円・2.01%、加重平均 6,099 円・2.15%と高水準となっています。

### 前年実績比較可能組合での回答状況

同一組合での前年実績比較可能な 325 組合での単純平均額は 5,501 円で、前年実績 5,769 円を 268 円下回っています。率では 203 組合の単純平均で 1.98%と前年実績比-0.12 ㊦となっています。

金額で比較可能な 325 組合のうち、156 組合・48%が前年実績額以上の回答を引き出しています。生協労連(4 組合)、全印総連(1 組合)の計 5 組合が前年実績+2,000 円台を引き出したのをはじめ、120 組合が前年実績額を超える成果を勝ち取っています。

単産・部会別にみると、単純平均額で前年実績比プラスとなっているのは、全農協労連、合同繊維、生協労連、出版労連、映演労連の 5 単産・部会となっています。

規模別では、規模別では、「1000 人以上」が前年実績比 131 円増・+0.01 ㊦、「300~999 人」89 円減・+0.01 ㊦、「100~299 人」256 円減・-0.08 ㊦、「30~99 人」305 円減・-0.21 ㊦、「29 人以下」443 円減・-0.21 ㊦となっています。

### 非正規雇用で働く仲間の賃上げ状況

パートやアルバイト、再雇用など非正規雇用で働く仲間の賃上げは、別表の 11 単産・211 組合から 335 件の成果獲得の報告が寄せられています。

前回調査(5 月 10 日現在: 10 単産 200 組合 313 件)から 11 組合 22 件増え、前年同期(2015 年 5 月 29 日 15 単産 214 組合 340 件)を 3 組合 5 件下回っています。生協労連では 144 件の成果を獲得し、日本医労連(前年同期比 39 件増)、福祉保育労(12 件増)、出版労連(5 件増)、建交労(3 件増)、化学一般労連、映演労連(各 2 件増)では前年同期を上回る獲得件数となっています。

パートやアルバイトなど(継続雇用・再雇用で働く仲間を除く)時給制で働く仲間の賃金引上げは 227 件、日給制が 11 件、月給制が 66 件となっています。

時給制での引上げ額報告のあった 162 件の単純平均額は 19.3 円となっています。日本医労連(時間額 150 円)や JMITU(同 140 円)では月額換算(155 時間換算)2 万円を超す回答を引き出しています。

日給制では 11 件平均 341 円となっています。建交労では運輸で日額 1,000 円の賃上げを獲得し、出版労連からは日給制臨時社員での上積み獲得の報告も寄せられています。

月給制では 51 件平均 6,002 円と高水準を維持しています。生協労連、日本医労連で高額回答を引き出しているほか、化学一般労連でも契約社員の月額 13,000 円の賃上げを実現しています。

再雇用・継続雇用で働く仲間の賃金改善は 7 単産で、時給制 15 件、月給制 16 件の成果を獲得しています。

時間給での引上げ額は14件の平均で66円、月額は13件平均3,908円となっています。化学一般労連、出版労連からは月額1万円以上の賃金引上げの報告が寄せられています。

### 企業内最低賃金改訂状況

企業内最低賃金協約の締結・改定状況は前回調査と同じく、別表の9単産76組合での集計となりました。

時間額の獲得件数は56件で、日額は22件、月額が38件となっています。また、日本医労連（看護師、ヘルパー）、建交労（大型運転手）で職種別の最低賃金協定を勝ち取っています。

時間額で改定後の金額揭示のあった47組合での平均額は941円で、日額では14組合平均7,534円、月額は20組合平均162,092円となっています。

出版労連では「月額220,930円、日額10,520円、時間額1,503円」の協定を締結したのをはじめ成果を勝ち取った全9組合が時間額1,000円以上を実現しています。また、JMITU、全印総連、民放労連などでも時間額1,000円以上の改定を勝ち取っています。

**STOP暴走政治、戦争法廃止！ 壊すな憲法  
暮らしを守る共同で、賃上げと雇用の安定、地域活性化**

### <参考> 他団体の賃上げ集計結果

●連合の第5回回答集計（平均賃金方式・5月11日公表）は以下のとおりです。

集計対象	集計組合		加重平均			
	組合数	人数(万)	金額	率	昨年	率
全組合	3,807	244.1	5.915	2.02	6,710	2.28
中小共闘	2,650	25.9	4,514	1.86	4,845	1.99

※中小共闘は、規模300人未満

●連合・第5回回答集計（非正規雇用労働者の賃金引上げ・5月11日公表）は以下のとおりです。

集計対象	時間額					
	単純平均			加重平均		
	組合数	賃上額	平均時給	人数(万)	賃上額	平均時給
全組合	279	18.10	964.72	63.3	18.21	935.15

集計対象	月額					
	単純平均			加重平均		
	組合数	賃上額	率(参考)	人数(万)	賃上額	率(参考)
全組合	142	3,299	1.65	5.7	3,604	1.80